

松島まつしま  
(釈しゃく  
南山なんざん)

天下有山水 各擅一方美  
衆美歸松洲 天下無山水

天下てんか  
山水さんすい  
有りあ

解説 松島の景勝が、天下一であることを詠った詩。

各おのおの  
一方いつほうの  
美びを  
擅ほしいままにす

語釈 ※山水〓山と水の景色。※擅〓ひとりじめにする。※一方美〓一方の名声。※衆美〓もろもろの美しいもの。※松洲〓松島。洲は島の意。

衆美しゅうび  
松洲しょうしゅうに  
帰きす

通釈 天下いたるところに山水の名勝があり、それぞれその地方で評判が

天下てんか  
山水さんすい  
無しなし

高い。ところが、この松島は、それらの美景がすべて残らず集まっているので、この松島に比較すれば、ほかの名勝といわれるところは影が薄くなってしまう。松島のほかには天下に山水無しといっても過言ではない。